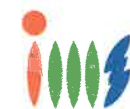




医療法人財団 明理会
新松戸中央総合病院
「高度な医療で愛し愛される病院」



病 院 概 要



- 開設：昭和54年
- 院長：松尾亮太
- 医師数：81名
- 職員数：1000名
- 許可病床数：333床(一般)
- 板橋中央総合病院グループ
- 主な診療科目

総合診療科、神経内科、呼吸器内科、呼吸器外科、循環器科、心臓血管外科、外科、消化器・肝臓科、脳神経外科、整形外科、血液内科、泌尿器科、乳腺外科、腎・透析センター

リハビリテーション科 基本方針



- ① 急性期より、**高い専門性を有するリハビリテーション**を提供する。
- ② 患者の人権と意思を尊重し、患者を中心とした、**安心と満足が得られるリハビリテーションを提供する**ため、十分な説明とリスク管理に配慮する。
- ③ 家庭復帰や社会復帰など、患者が住み慣れた地域に帰ってからの**生活を豊かにする**事を目標に、地域や他の医療機関、施設等との連携を図る。
- ④ 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の各スタッフがそれぞれの専門性を発揮すると共に、相互に連携を図り、**チームアプローチを展開**する。
- ⑤ より質の高いリハビリテーションを提供するために、**日々研修・研鑽に努める**。

リハビリテーション科 キャリア・ビジョン

10年

・・・判断力・指導力を持ち責任ある仕事を担う
専門分野に特化

管理運営能力で施設全体の業務に携わる

5年

・・・より難しい症例の臨床実践

あらゆる業務に対応でき、職場を引っ張る存在

後進の育成（off job、on job）、上司の補佐

より高度な専門領域について実践できる能力を持つ

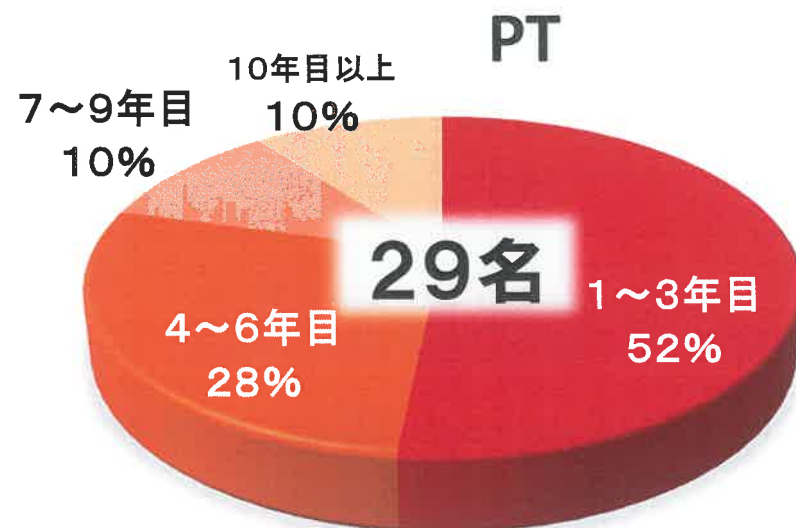
3年

・・・多職種との連携を含めた総合的な知識・技術の習得

社会人として、手本となる存在

常にPDCAサイクルをまわし、後輩を補佐する

リハビリテーション科 スタッフ数



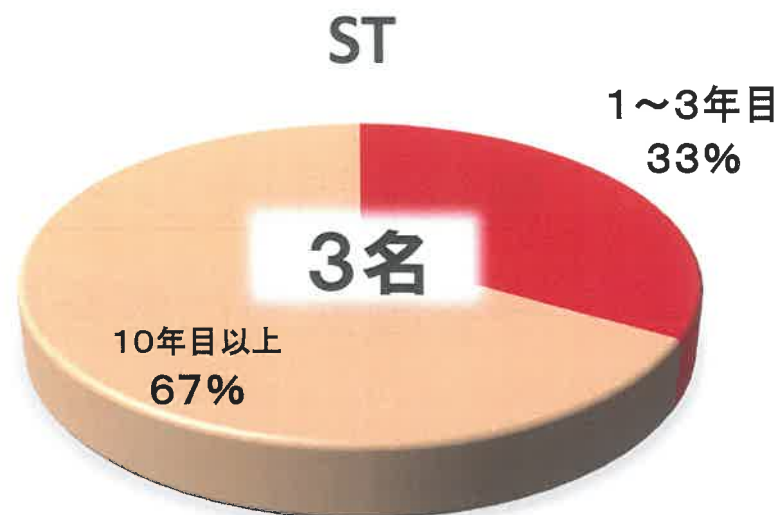
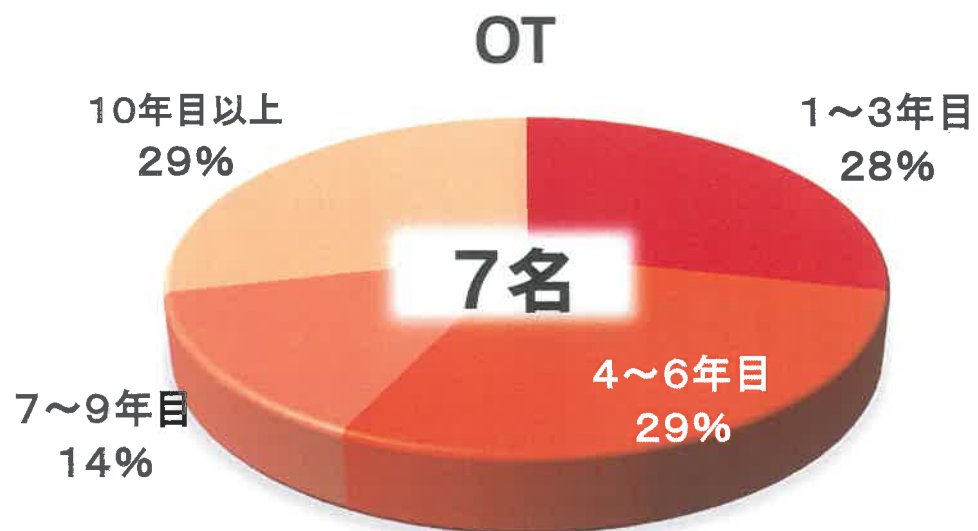
合計：39名

平均経験年数

PT：4.9年

OT：6.8年

ST：12年





当院の特色

■ 千葉県がん診療連携協力病院

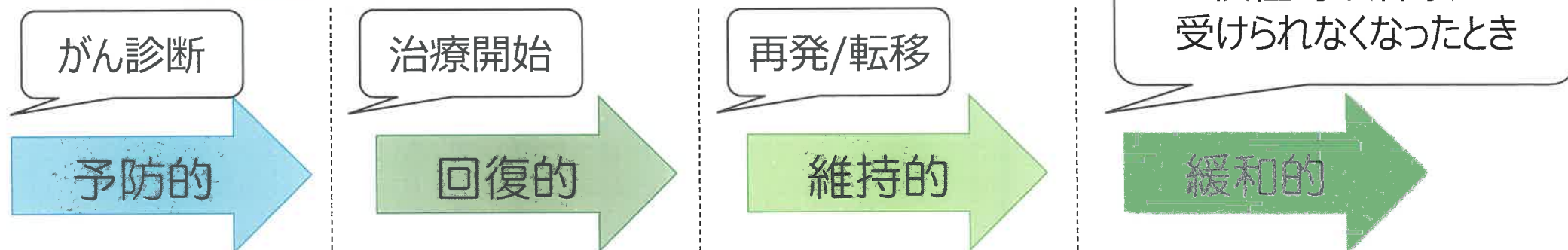
→がんのリハビリテーションの研修に参加し、
がんリハの算定可能なスタッフの増加

■ 機能別センター （血液浄化、消化器病、心臓血管）

→各種疾患に総合的に対応できるスタッフの育成



がんの リハビリテーション



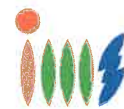
外科領域

胃がん、大腸がん、肺がん、膵臓がん など

内科領域

急性骨髄性白血病、多発性骨髄腫、悪性リンパ種、骨髄異形成症候群 など

機能別センター



血液浄化センター

腎臓内科

専門の病棟

血液浄化療法
エンドトキシン吸着療法

消化器病センター

消化器外科
消化器肝臓内科

内視鏡治療
開胸・開腹手術
胸腔・腹腔鏡手術
薬物療法

心臓血管センター

循環器科
心臓血管外科

開胸手術
開腹手術
カテーテル治療



単位取得の流れ

- 臨床経験を増やすことを重視（IMSグループ全体の取り組み）
- 各新人に教育係（プリセプター）を1名ずつ配置し、
On-Jobにて臨床指導実施（特に4月～7月は集中的に実施）
- 7月～9月までに18単位の業務実施を目標
（4月以降徐々に実施単位数を増やしていく）



当院の新人教育

- 4月中に、「病院やリハ科の体制説明」、「診療科ごとの特色」、「リスク管理」、「リハ関連書類作成方法」など、業務実施に必要な内容について、集中的に勉強会を実施。
- リハ科独自の教育ラダーに基づいて指導
- 新人症例検討会 3回/年(7月、12月、2月)

教育ラダー



- 年間を通じて段階的な業務達成目標を設定。
- 毎月、目標達成状況を確認しながら、教育係が個別に指導内容を調整
- 1年間で通常業務が独力で実施出来ることを目指す。

リハ科内 勉強会

定期勉強会：月1回

- 講義形式
- 実技形式
- 症例検討
- 外部勉強会※伝達

※参加時の助成制度あり

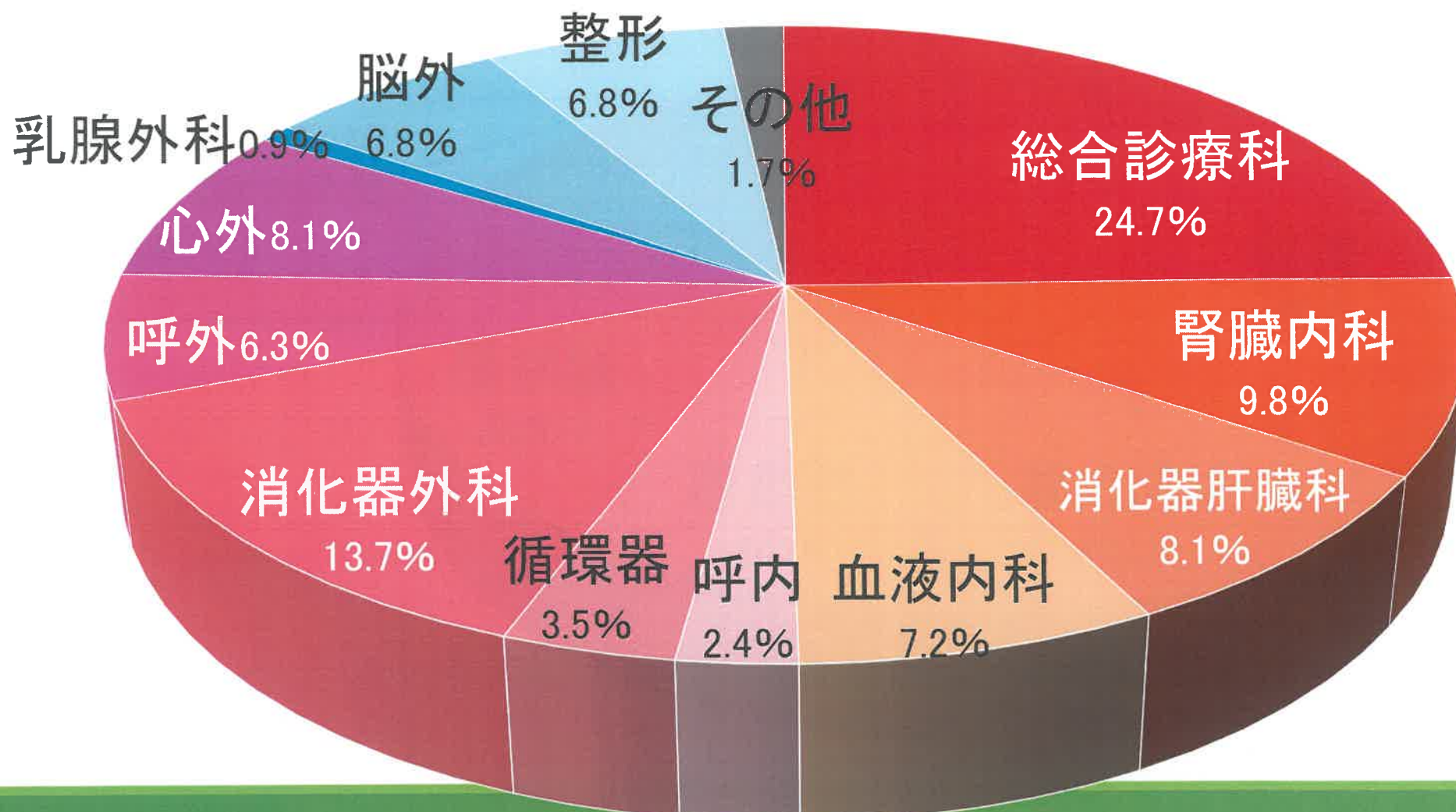
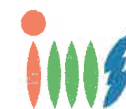
その他、臨時勉強会あり

2020年度(主な予定)

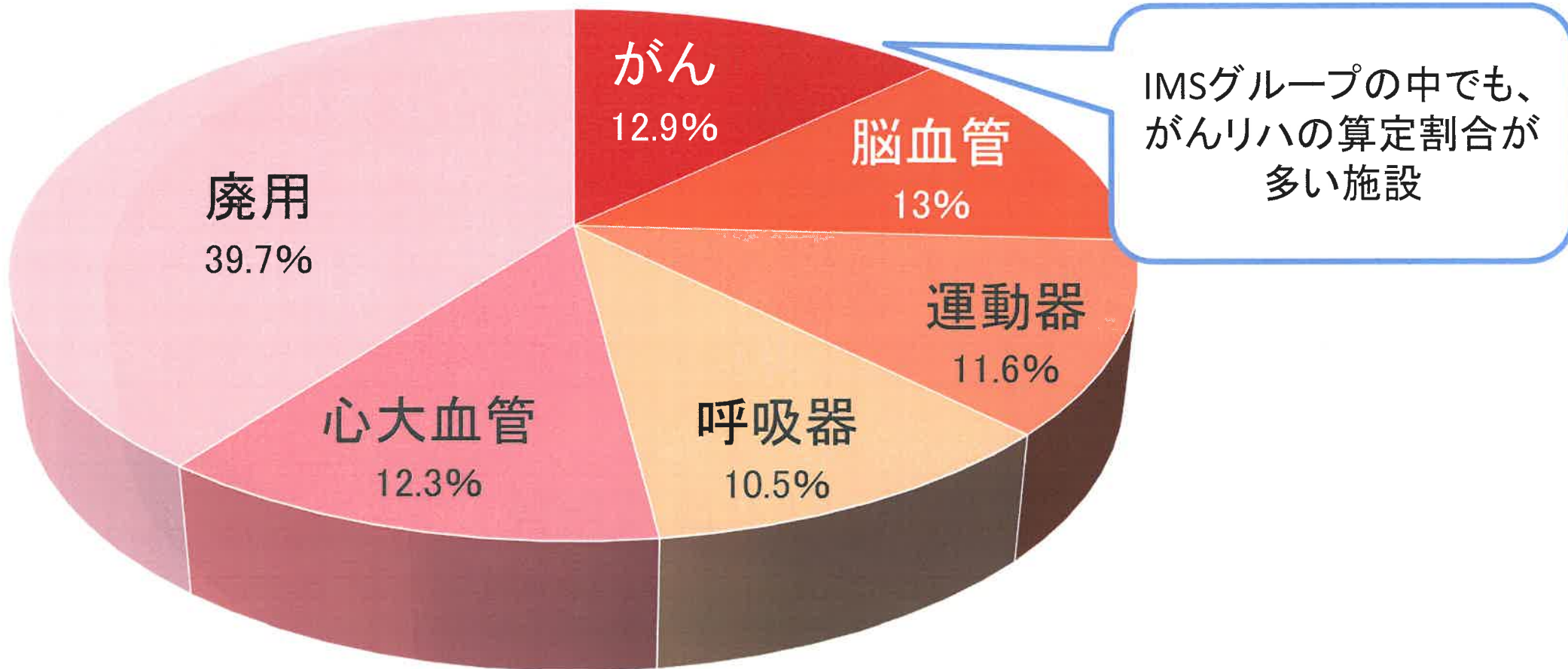


テーマ・内容		形式
4月	トランスファー	講義・実技
5月	嚥下機能について	講義
6月	がんリハ、緩和ケア、当院の機能・役割	講義・事例検討
7月	脳解剖とシステム、病態と予後予測	講義・検討会
8月	脳解剖の見方・病態について 急性期のCVAのリハビリ、	講義・事例検討
9月	高次脳機能障害に対するリハビリの進め方	講義・事例検討
10月	股関節疾患に対するアプローチ	講義・実技
11月	呼吸不全に対するリハビリ	講義・実技
12月	心不全に対するリハビリ	事例検討

診療科別リハビリオーダーの割合



疾患別リハビリテーションの割合

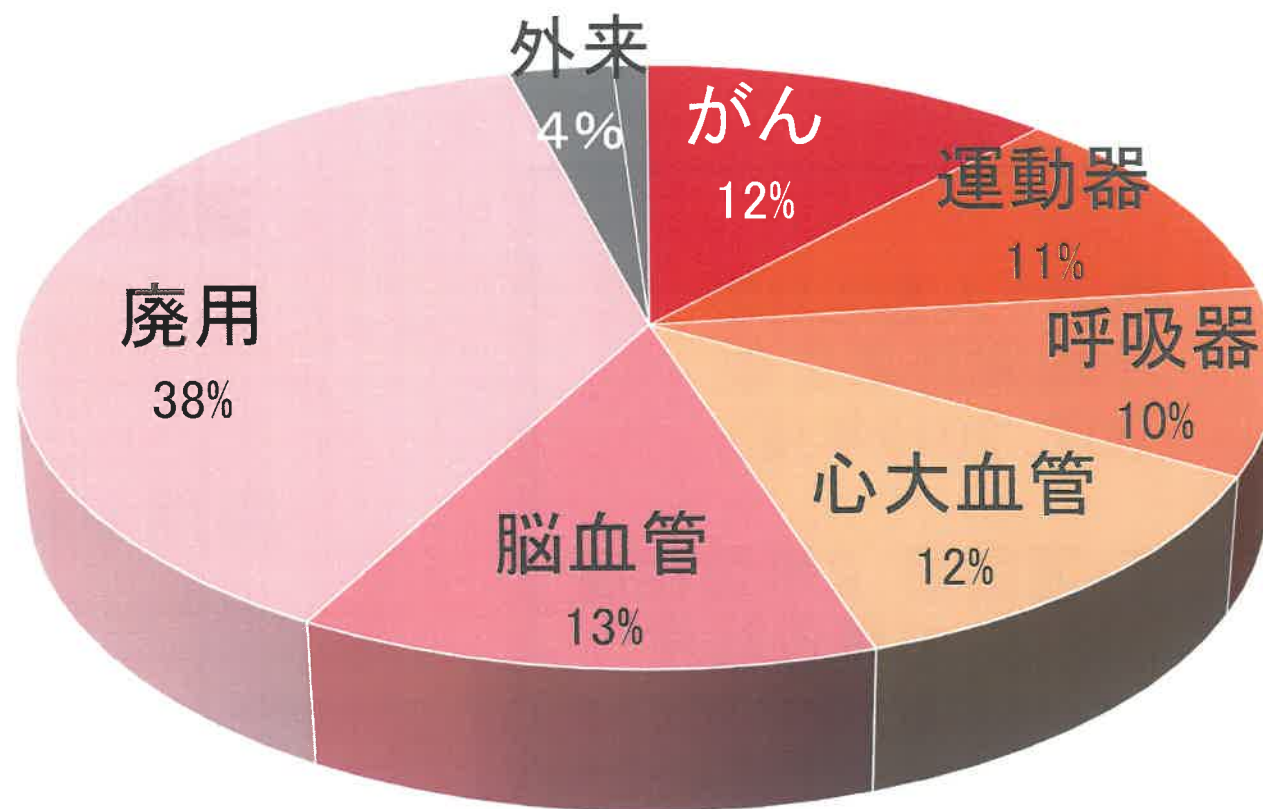


PT疾患別リハ割合（実人数）2019年度



患者1人あたりの
平均実施単位数
(PT2019年度)

運動器: 2~3単位
その他: 2単位程度

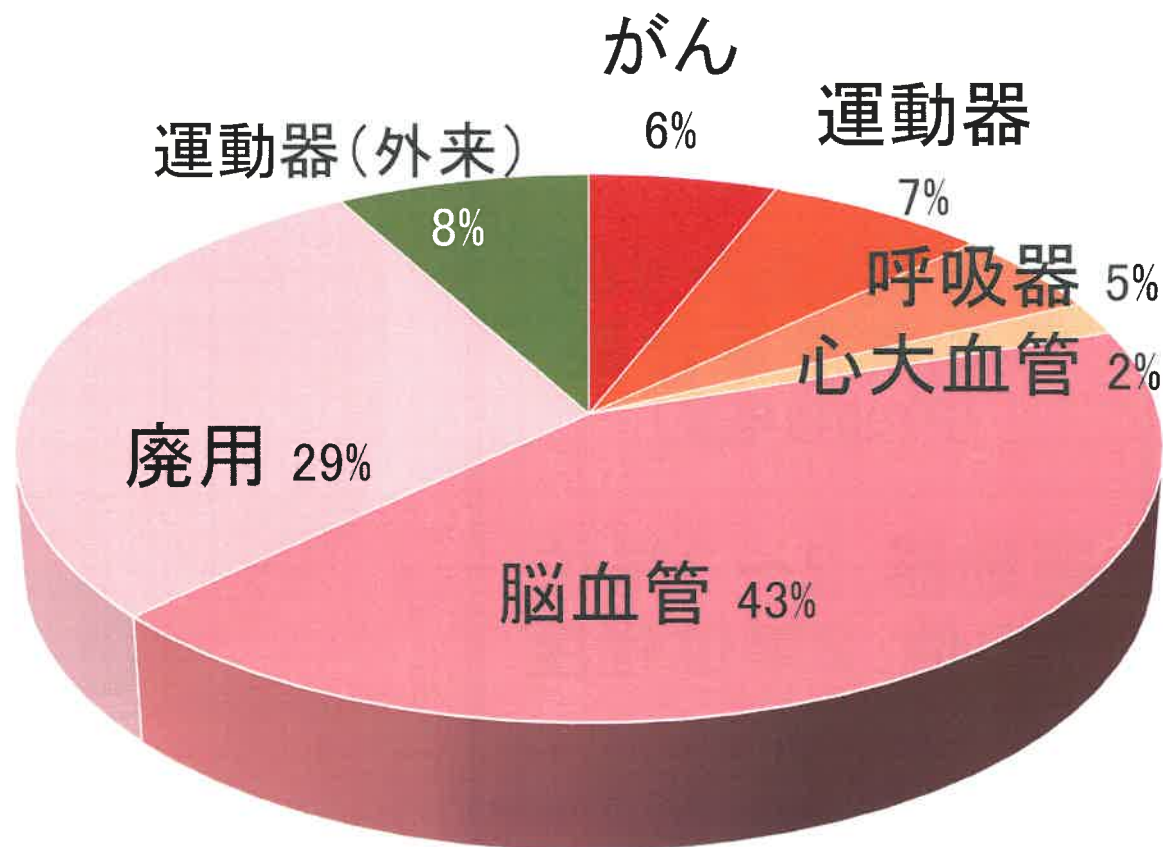


OT疾患別リハ割合（実人数）2019年度



患者1人あたりの
平均実施単位数
（OT、2019年度）

脳血管・運動器：2単位程度
その他：1.6単位程度



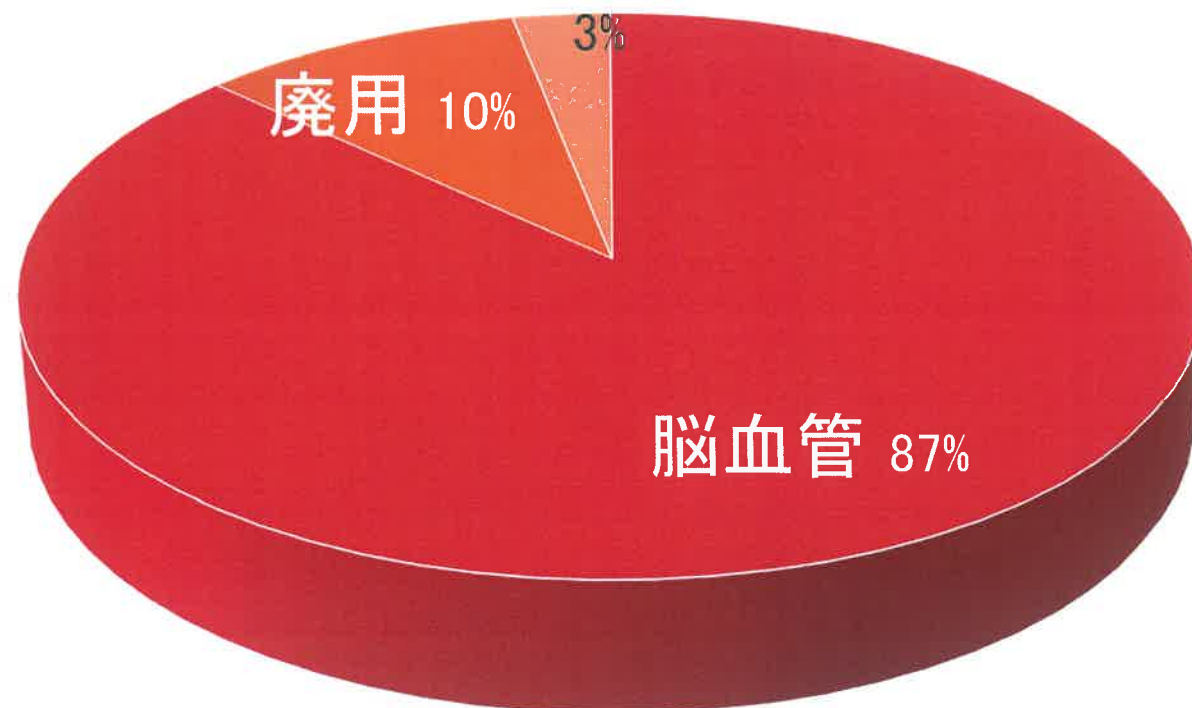
ST疾患別リハ割合（実人数）2019年度



患者1人あたりの
平均実施単位数
(ST、2019年度)

脳血管: 2~3単位
廃用: 1.6単位

脳血管(外来)



PT





主な理学療法業務

- 入院(外来)患者の理学療法
- 各種カンファレンス・回診
- 退院前訪問指導(家屋評価など)
- 糖尿病教室、腎臓病教室、健康体操教室
- 訪問看護ステーションの理学療法
- RST(呼吸)、NST(栄養)、転倒転落WG
- 緩和ケアチーム(がん)、DM教育



主な対象疾患

多種多様な疾患に対し早期からの介入に取り組んでいます。

- 脳血管疾患** : 脳梗塞、脳内出血、クモ膜下出血、硬膜下血腫、脳腫瘍 等
- 運動器疾患** : 頸部骨折、転子部骨折、圧迫骨折、足関節周囲骨折 等
- 呼吸器疾患** : 悪性新生物(呼吸器)、肺炎、慢性閉塞性肺疾患(COPD) 等
- 内部疾患** : 悪性新生物(消化器、造血器)、外科の術後、開心術後、心・腎不全、人工透析、肝性脳症、長期臥床・入院による廃用進行の方 等

特色 (PT)

チーム制

〈主な担当〉
・呼吸器内科
・腎臓内科
・循環器科
・心臓血管外科

循環器
チーム

がんA
チーム

〈主な担当〉
・血液内科
・総合診療科
・呼吸器外科
・消化器内科
・消化器外科

がんB
チーム

〈主な担当〉
・血液内科
・総合診療科
・呼吸器外科
・消化器内科
・消化器外科

ここがポイント！

基本的に3チームを1年ごとにローテーションし、全領域を経験できます。

脳神経外科、整形外科は全スタッフで担当します。

OT





特色（OT）

- 早朝リハビリ（患者さんのADLに沿った介入）
- 脳卒中患者を中心に自動車運転支援
- 整形外科の外来リハビリ
- 乳がんの周術期リハビリ

ここがポイント！

周術期および発症初期から退院後の生活を見据えたりハビリを提供しています。

急性期では珍しい自動車運転支援も積極的に行っています。



主な対象疾患

- 脳血管疾患** : 脳梗塞、脳内出血、クモ膜下出血、硬膜下血腫、脳腫瘍 等
- 運動器疾患** : 各骨折(肘・手関節、手指中心)、靱帯損傷、腱断裂 等
- その他** : 悪性新生物(乳癌等)、心・腎不全、人工透析、心疾患、長期臥床・入院による廃用 等

ST



新松戸中央総合病院 カンサ科



特色 (ST)

- 入院早期から(早ければ当日)からの介入
- 様々な診療科からオーダーがあり、色々な病態の患者さんを診ることが可能です。
- NST参加を通じて、多職種連携や更なる知識の習得が出来る。

ここがポイント！

言語聴覚部門は、患者さんの目線で考え、よりよいセラピーが行えるよう、日々取り組んでいます。

担当患者さんはPT・OTの先輩と一緒に担当し、高次脳機能障害の事など、とても相談が行いやすい環境です。



主な対象疾患

- 対象領域**：脳血管疾患、頭部外傷、内科疾患、
廃用症候群、加齢にともなう機能低下 等
- 訓練対象**：失語症・その他高次脳機能障害、
Dysarthria、嚥下障害 等



ぜひ一度、見学に来てください！！